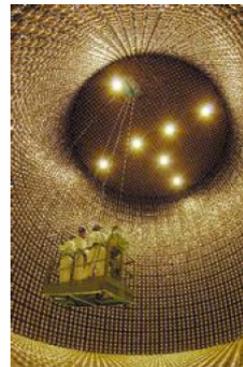


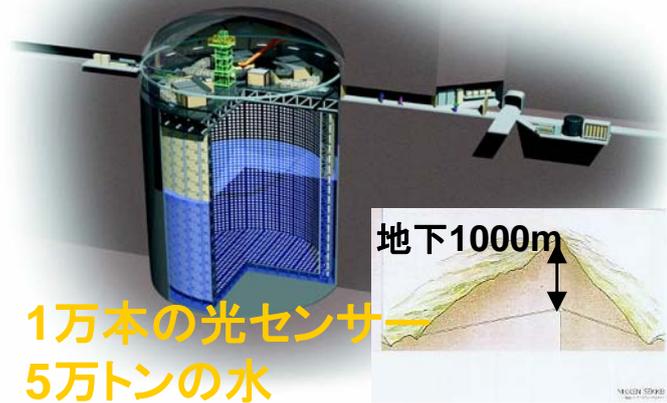
## スーパーカミオカンデ復旧作業がほぼ終了、観測再開へ

2006年04月07日

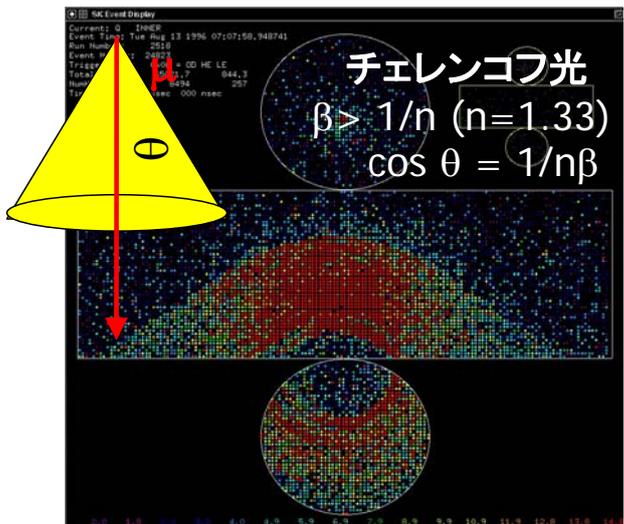
01年に約1万1000本ある光センサー(光電子増倍管)のほぼ半数が一気に破損した東京大宇宙線研究所・神岡宇宙素粒子研究施設(岐阜県飛騨市)の観測装置「スーパーカミオカンデ」の復旧作業がほぼ終了し、7日に報道陣に公開された。直径約40メートル、高さ約42メートルの巨大な水槽の壁一面には、光センサーがびっしりと取り付けられた。今後5万トンの水を注入し、6月末から本格的に観測を再開する。



光電子増倍管の修復作業が終わったスーパーカミオカンデ。7日、岐阜県飛騨市神岡町で、魚眼レンズ使用

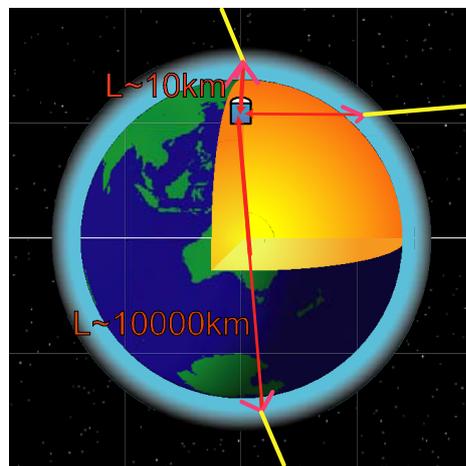
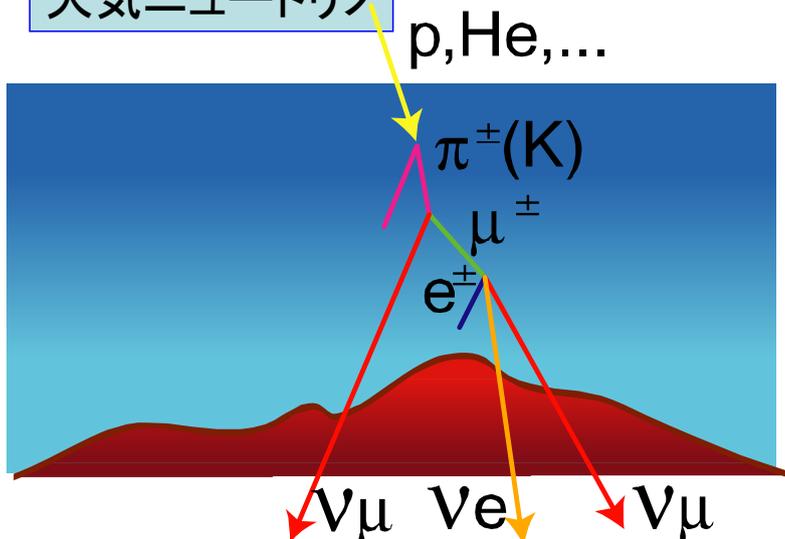


1万本の光センサー  
5万トンの水



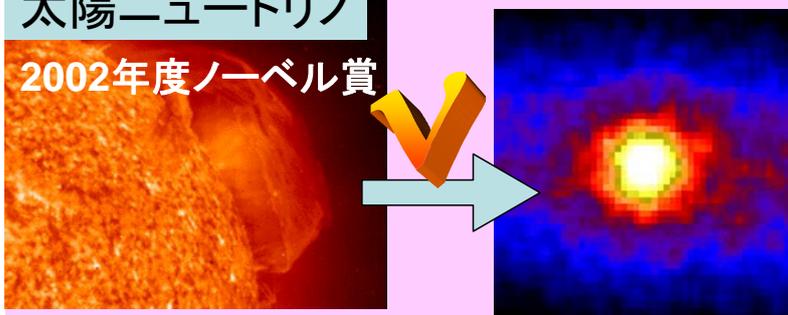
### ニュートリノ振動の発見(ニュートリノ質量の証拠)

大気ニュートリノ

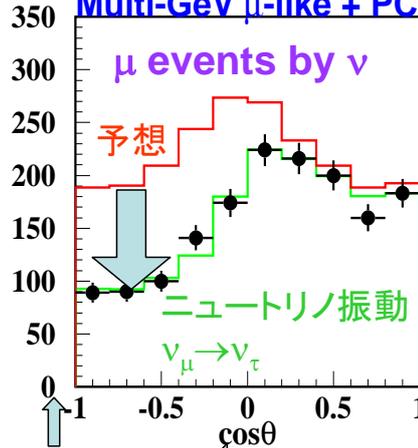


太陽ニュートリノ

2002年度ノーベル賞



Multi-GeV  $\mu$ -like + PC



$\sim 13000\text{km}$   $\sim 500\text{km}$   $\sim 15\text{km}$